

歩行における上肢機能



監修・解説: 北山 哲也

山梨リハビリテーション病院
理学療法課 課長
神経系専門理学療法士
脳卒中認定理学療法士

商品番号:ME271-S 販売価格:23,100円(税込・送料別) 全3巻・分売不可



上肢へのアプローチが下肢にも影響を与える!

- 1回の介入で姿勢・歩行は変わる!
- 下肢の機能性評価
- 上肢機能と歩行の関連性
- 上肢機能と歩行の効率性
- 上肢機能と歩行の実践
- 上肢機能と歩行の実際の臨床

臨床において歩行機能を高めるために、下肢の機能向上を優先的に進める傾向があります。上肢は一つのカテゴリーに区分され、歩行中の胸郭・上肢帶の反応は、重力や慣性に対する受動的な結果であるという意見も少なくありません。

このDVDでは、歩行における上肢機能の役割と評価治療法をスライドや実技を通して分かりやすく解説しています。上肢機能を高めることは、歩行や立位だけでなく立ち上がりにおいても非常に重要な役割を果たしています。歩行下肢とどちらがちですが、上肢機能にも着目していくことは、歩行機能を高めることに繋がっていきます。

1巻目では、立位姿勢・歩行に関する基本的な知識の理解を深め、2巻目では、歩行においてなぜ上肢機能に着目するのかを深く掘り下げます。実際の患者さんを例に、身体状態に合わせてどのようにアプローチを行い、その結果どのような効果を得ることができたかを写真や数値から読み取ります。3巻目では、肩甲骨にアプローチして、介入前後の上肢機能と歩行を比較していきます。

1回の介入だけでも、適切な評価・治療を行うことで動きの違いを実感できます。

是非このDVDを参考にして、臨床にお役立ていただければ幸いです。

スライドと実技で歩行時における上肢機能の役割を徹底解説!

ME271-1 立位・歩行の効率性



ME271-2 歩行における上肢機能



ME271-3 臨床実践における配慮



姿勢制御の
観点から

商品詳細・ご注文は通販サイトから… www.japanclaim.co.jp/ ■サンプルムービー配信中

JLC ジャパンライム株式会社 TEL.03(5840)9980 FAX.03(3818)6656
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14

【お申込み・お支払い方法】○ご希望の商品番号を指定し、電話かFAX、もしくはDVD通販サイトにてお申込みください。受注確認後3~6営業日後でお届けします。
○送料は1回につき800円(税込)。○到着日指定で「代金引換(手数料無料)」の宅配便でお送りします。○カード(VISA、MASTER、AMEX、他)もご利用できます(分割も可)。

ジャパンライム ME271

検索

ME271
2019.12

歩行における上肢機能

姿勢制御の観点から



ME271-1 30min

立位・歩行の効率性

■イントロダクション

■歩行について

- ヒトの立位
- 二足直立歩行における足部の重要性
- Ibによる促通作用
- 体性感覚と歩行
- PIVC(前庭皮質)

■立位姿勢について

- 効率の良い立位姿勢とは?
- 姿勢の対称性(正中位指向)
- バランス戦略の多様性(選択性)

■上肢と下肢の関係性

- 上肢機能と下肢-体幹の関係性
- 三次元動作解析システム(VICON)
- 表面筋電図による分析



ME271-2 61min

歩行における上肢機能

■歩行における上肢機能

- なぜ、歩行時の上肢機能に着目するのか
- 歩行における身体の機能区分
- 効率的なアームスイングと代償活動
- 歩行時の上肢の役割



■姿勢制御

- APA's(予想的姿勢制御)
- 網様体育髄路の多髄節支配

■実際の片麻痺者の立位・歩行

- 片麻痺者の立位・歩行の特徴
- CPG制御機構
- アームスイングにおける神経活動
- 上肢機能に関する論文より
- リーチ動作
- 身体参照枠



■片麻痺者へのアプローチ

- 片麻痺側の肩に対するアプローチ
- 上肢機能と立位バランス
- 上肢拳上における重要なヒント
- 骨盤帯-肩甲帯の関係性
- 上肢機能に対する介入
- ライトタッチと正中位指向
- リーチ動作に伴う右下肢の支持性促通
- 介入後の筋活動(EMG)
- 介入前後の重心動搖

■まとめ

ME271-3 77min

臨床実践における配慮

■歩行における上肢機能の評価

- 上肢機能の評価
- 歩行からみる評価
- 上肢に対する体幹の反応
- 上肢リーチ+1歩



■肩甲骨の治療(立位)

- プローンスタンディングへの誘導
- 【補足】頸部の代償が強い場合
- 【補足】上腕二頭筋に短縮がみられる場合
- 上肢の拳上評価



■治療後の再評価

- 上肢機能の再評価
- 歩行からみる再評価
- 上肢誘導時の下肢活動

■ライトタッチと正中位指向

■肩甲骨の治療(座位)

- 肩甲骨の治療(座位)
- 【補足】頸部の代償が強い場合

■足部の介入